

1. 新庁舎・(仮称)新福祉社会館建設は基本設計に進みます

平成30年第2回定例会にて、新庁舎・(仮称)新福祉社会館の基本設計関連予算は付帯決議が付され可決となりました。今後は下記の条件の下に、基本設計に進みます。

- 既存清掃関連施設の暫定移設は行わない
- 複合施設として整備することでスケールメリットを追求し、施設規模の縮減をめざす
- (仮称)新福祉社会館機能を早期に回復させることを優先する
- 免震構造を採用する場合に生じる地下空間は駐車場として整備するなど有効活用を行う
- 平常時の緑地・広場確保とともに、発災時における駐車場、広場の活用をイメージし、バランスのとれた空地活用を目指す

庁舎建設予定地

設計・建設の主なスケジュール

2019年1月～(3ヶ月)

現在

設計者
選考

2019年4月～(12ヶ月)
基本設計

2020年4月～(10ヶ月)
実施設計

2021年2月～(4ヶ月)
施工者選考

着工へ

2. ごみ処理、減量への取り組み

新可燃ごみ処理施設 建築工事が進展中

日野市、国分寺市と共に設立した浅川清流環境組合で、来年2020年4月からの本格稼働を目指します

不燃・粗大ごみ、資源物 清掃関連施設の 再配置

中間処理場の老朽化を考慮し地域の皆様のご理解を得ながら、小金井市清掃関連施設整備基本計画に基づく再配置を進めます

その他のごみ対策

枝木や落葉の戸別回収

フードドライブ事業

リサイクル推進協力店の拡大

- 可燃ごみ処理は現在、多摩地域の多くの自治体の皆様のご理解により、滞りなく処理されています。
- 市民や事業者の皆様のご協力により、人口10万人～50万人の市町村(平成28年度)では、**市民一人、一日当たりのごみの排出量は最も少なく、リサイクル率は全国2位**の高さを誇ります。

3. 真の行財政改革、市役所改革の推進

市役所を市民の役に立つ所、市内最大のサービス事業所へ

人口・税収が横ばいから減少に向かう中でも、持続可能な財政運営と市民サービスの向上を実現し、「選ばれるまち」を目指すために策定した行財政改革プラン2020、アクションプラン2020を実践しています。

イクボス宣言を行い、男性職員の育児休業取得率が向上

平成27年度
10%

平成29年度
15.4%

働き方改革及び
時間外勤務の短縮のため
本格実施

退庁時間の
見える化

時差出勤
制度

行財政改革による財源効果額

平成28年度
約1億6千万円

平成29年度
約3億2千万円



イクボスプロジェクトを推進するNPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事の安藤氏と

行革のための具体的な実施取組数

平成27年度	▶ 16項目
平成28年度	▶ 22項目
平成29年度	▶ 13項目
平成30年度	▶ 35項目(取組中)

4. 「子育て環境日本一」、「切れ目のない子育て支援」を目指し、地域力や教育力等のまちの総合力を向上

を

保育園待機児童解消、民間保育所への補助事業確保への取り組みを進めています。

待機児童数

平成27年4月
164人

平成30年4月
88人

保育定員数

平成27年4月
2007人

平成31年度
3026人
(予定)

※平成31年4月に3園の認可保育園を新設し、さらなる定員増を実施します。

保育関係予算

平成28年度
約36億
1千万円

平成30年度
約51億
8千万円



イベント等で使用できる赤ちゃん休憩室の貸し出しを開始

- 全ての妊婦を対象とした妊婦面接の実施、認可外保育所保護者助成金及び私立幼稚園保護者補助金等の拡充を行い、保育士のための宿舍借り上げ費用の補助制度等を導入。
- 小金井警察署と「児童虐待の未然防止と早期発見に向けた情報共有等に関する協定」を締結。
- 学童保育の大規模化に対応すべく、平成31年度に(仮称)あかね第4第5学童保育所の新設工事を予定。

学校給食へ小金井産野菜の活用推進中

子ども達と一緒に給食を食べる学校訪問を展開中!

平成27年度
3.5%

平成28年度
5.35%

平成29年度
9.89%

30年度の
使用量は29年度を
上回る状況で推移

小金井産野菜の給食使用率(一学期間)



地場産野菜をふんだんに使った学校給食